

大学院『専攻別3つのポリシー』

〈学位授与方針〉 〈教育課程の編成・実施方針〉 〈学生の受け入れ方針〉

人間科学専攻（教育学分野）博士後期課程

1. 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

教育学の領域における精深で豊かな学識と研究倫理を有し、独創性ある研究者として自立して研究を行い得る能力または大学、国際機関などで高度に専門的な業務を遂行し得る能力を持ち、多角的かつ批判的な思考力および問題解決力を身に付け、さらには独創的な視座をもって研究論文をまとめ、その内容を発信する力を習得し、教育実践を指導する基盤となる実力を築いた人物に博士（人間科学）の学位を授与します。

2. 教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

教育学の学識をさらに深めるとともに、標準修業年限内での博士學位論文の作成が可能となるように、少人数制の演習を重視し、学生による研究活動とこれに対する研究指導とをカリキュラムの中心に置いています。学界の研究水準を踏まえ、かつ独創性を育てるために、複数研究指導体制の下、先行研究を精査し、多角的な観点から問題意識を深化・発展させ、主体的に取り組むことを重視しています。論文作成指導に際しては、教育研究領域が定める博士論文の提出要件を計画的に達成し、博士論文の評価基準に適合した論文の作成が可能となるよう、特に留意します。

3. 学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

入学者受け入れにあたって次のような点を重視します。

1. 人間の成長や社会の発展を支える教育および学習の在り方に対して強い研究意欲を持ち、博士前期課程修了程度の学識と研究能力を備えていること。
2. 教育学に関する独自性のある明確な研究課題を持ち、計画性をもって独創的な研究を進めることが期待でき、修了後は研究を通じ、または大学、国際機関などでの高度な業務を通じ、グローバル化する社会への貢献を目指していること。

なお、教育分野の学問的探求を通して専門性を深めたい社会人および現職教員も歓迎します。

大学院『専攻別3つのポリシー』

〈学位授与方針〉 〈教育課程の編成・実施方針〉 〈学生の受け入れ方針〉

人間科学専攻（心理学）博士後期課程

1. 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

博士後期課程では、研究倫理を遵守し、広い視野に立ち柔軟な思考と的確な判断力を持ち、また、主体的に探求を続ける姿勢を持つだけでなく、さらに専門性を十分に磨き、国際化された社会の中で積極的に活躍し貢献することができる人材を送り出します。

2. 教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

博士後期課程では、心理学基礎研究領域と発達臨床研究領域において、それぞれの専門領域のエキスパートの育成を目指すための体系的で高度な学識を養うためのコースワークと研究能力の高度な育成を目指すリサーチワークの両者から成るカリキュラムを編成しています。

3. 学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

博士後期課程では、高いレベルの知識と能力を持ち、豊かな人間性と高い倫理性を備えていることを前提とし、国際化された社会の中で、専門的な職業において活躍し貢献することを、意欲的に目指している方を受け入れます。

(2018年3月7日更新)